

The Principal Report

校長通信 (2月号)

February / 1st / 2026 / VOL 042

「個」としての自覚と、「孤」としての行動力

2年生の修学旅行が終わりました。今年もとても良い内容で実施することができ、生徒たちにとって良い学びと経験の場となったと思います。残念ながら体調不良等で参加できなかった生徒もいましたが、また他の機会に国や地域を飛び出していく経験をぜひしてもらいたいと思います。

さて、今回の修学旅行、昨年の修学旅行でも同じことを感じたため、今日はそれについて改めて言葉にしていきたいと思います。御殿場西高校の修学旅行は3年前から3コースからの選択制としています。ここには、自分が興味がある国、文化、内容で選択することにより、修学旅行をより自分ごととして考え、主体的な研修旅行としてもらいたいという思いがあります。また、これまではクラスごと固定化されたものが、今では特別選抜、進学選抜、情報選抜、未来探究がコース関係なく混ざり合うことで、新たな出会いや人間関係の構築につなげてもらいたいという面もあります。海外や国内に関係なく、より多様な集団の中で研修旅行をすることで、今後の学校生活や卒業後の自分の人生を、より豊かなものにしてほしいと思っています。

そんな修学旅行で、昨年も今年も感じたことがあります。それは「個」としての自分の存在を自覚し、「孤」として動く力を高めるということです。修学旅行ですので、単独で行動する機会はほとんどなく、そもそも一人で行動する時間はほぼありませんでした。ただその中で、現地の高校生や大学生、あるいは現地の方々と交流する機会があったと思います。そこで、自分がどのような行動をとっていたのか振り返ってみましょう。心地のいい集団の中を飛び出して、個人（自分）として、一人で相手や集団とやり取りすることができましたか。こうしたコミュニケーションの場で大切なことは、英語ができるかできないかに関係なく、相手に自分の考えを理解してもらおうとする姿勢、相手を理解したいと思う姿勢の2つを自分の中に持つことです。おそらく今後の人生で二度と会うことのない相手に対して、出会いに対する感謝と敬意をもって、相手と向き合うことができたでしょうか。昨年もまったく同じことを感じたのを覚えています。

自分一人に対して複数の集団と積極的にコミュニケーションをとることはとてもハードルが高そうですが、実際にそれをやっている生徒もたくさんいました。交流の時間が終わった後も、ずっと話をしたり笑い合ったりする生徒もいました。これは昨年もまったく同じで、別れの時までずっと話したり遊んだりしていたのを覚えています。その時、「個」としての自覚と、「孤」としての行動力の大切さを感じ、生徒たちにその後伝えました。その時、生徒たちがどんなことを感じていたのかはわかりませんが、その話を聞いていた生徒たちの行動にさらに変化が起きました。それは空港でのこと。搭乗までしばらく時間があったため、生徒たちはしばらく自由に空港内を散策する時間を手にしました。最後の自由時間、仲間との思い出作りのために、ほとんどの生徒がグループで動いている中、一人で空港内を見渡しながら行動している生徒が何人かいました。一人で世界を見る、一人で肌に感じる、一人でたくさんの人と出会う。そこには自分だけにしか体験できない価値が生まれます。そうした経験がきっと、これからの自分の人生へとつながっていくのだと思います。

日本人は同質性や調和を重要視する文化が根強くあります。島国であることや、歴史的に民族的な多様性が少ないからこそですが、同質性や調和を大切にすること自体は決して悪いことではないと思います。集団における協調生や、他者への共感が求められることは、どんな組織や社会においても普遍的であると思います。ただ、その一方で「個としての自立と、孤としての行動力」を持ちながら、目の前の課題と向き合い、あるいはこれからの限りない未来を切り開いていかなくてはなりません。一人になることは孤独を連想しがちですが、一人の大人としての強さの表れでもあります。御殿場西高校のスクールモットーである「Go Beyond 想像以上の自分になる」のスタートラインはここにあるのかもしれない。

マレーシア修学旅行「多様性の光と影、そして未来」

引き続き修学旅行の思い出を少々。私はマレーシアコースに参加させていただき、たくさんの気づきをいただきました。マレーシアは多民族国家で、異なる人種や宗教が共存する多様性にあふれた国です。ガイドをしてくれた「まっちゃん」からたくさん話を聞くことができましたが、マレーシアには多様性という表面下で、多くの社会的な課題が存在しているのだそうです。異なる民族や文化が入り乱れ、多様性に溢れる社会という理想的に感じる反面、マジョリティとマイノリティが存在するため、そこには差別もいまだに多く存在しています。そうした社会で生きていくために、まっちゃんは努力し続け6ヶ国語を習得し、今の仕事につけているのだそう。違いや多様性は歓迎されるべきことですが、そこには明確なルール、社会的な仕組みといったものが不可欠なのだと改めて感じました。

それにしても6ヶ国語を話せるってすごいことですね。私たちは第2言語として英語を学んでいます、それをビジネスレベルで英語を使いこなすことはとてもハードルの高いことだと思います。まっちゃんはそれを6ヶ国語で実践しているんです。こんな凄い人と出会えたことが、ぼくらの修学旅行の一番の思い出であり宝物ですね。



自転車マナーアップキャンペーン

1月15日（木）自転車マナーアップキャンペーンを実施しました。今年度3回目の実施となる同キャンペーンですが、御殿場警察署、御殿場市役所のご協力のもと、本校教員全員で生徒たちの交通マナーや交通安全の意識向上を促すことを目的としています。また、それに加えて、教員から生徒一人ひとりへの声掛けを増やし、コミュニケーションの場を作っていくことも大切にしています。朝から「おはよう！」の音が響いて、みんな笑顔になっている光景が見られました。これからも地域のみなさまと一緒に、明るく安全な街づくりを目指します。



スマホやSNSを甘く見ないこと

スマホやSNSの利用には改めて十分に注意が必要だと感じます。年明けから全国でSNSを中心に生徒の問題行動の動画が出回り、社会現象化しています。動画を撮影し、それを仲間グループで共有したり、SNSで拡散して大きな問題となるケースが相次いでいます。暴力を振るような行為をすること自体がそもそも絶対にNGですが、それを撮影してSNSで共有することは非常に危険な行為です。自分の人生だけでなく、家族や友人も巻き込んだ大きな問題へとつながっていくものとなります。実際に、個人情報特定され、その家族もネットに晒され、誹謗中傷が止まらない状況となっています。それは被害者自身も公にさらされることにも繋がり、2次被害、3次被害といったことにもつながっていきます。スマホやSNSの危険性をあらためて認識し、それらに自分が依存し、コントロールされ、危険にさらされているという自覚と認識を持つことが、これからは非常に重要であると思います。

保護者の皆様へ

1月も終わり今年度も残すところ2ヶ月となりました。3年生にとっては3月2日の卒業式まで残り1ヶ月。共通テスト後の2月は受験の一番の山場となります。ぜひ精一杯やり切ってもらいたいと思います。登校日数もわずかですが、御殿場西高校での高校生活を最後まで大切に過ごしてもらいたいと思います。表彰式、卒業式で凛々しくカッコいい姿を後輩たちに見せてくれることを楽しみにしています。

< 2月の行事予定 >

2月3日（火）4日（水）令和8年度入学試験

2月5日（木）令和8年度入学試験 採点日（生徒休業）

2月14日（土）保護者会後援会理事会

2月18日（水）～20日（金）3学期定期試験

2月27日（金）表彰式

3月2日（月）第59回 卒業証書授与式

2026

FEBRUARY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28